

東北の観光資源は一級、大きなインバウンドの可能性がある

東北のインバウンド低迷の理由（私見）

- 認知度・知名度の低さ＋震災の影響
- プロデュース能力不足（組織体制、人材、ノウハウの蓄積等が不十分）
- インバウンド振興機運の乏しさ
- 貧弱な国際航空路線網

「打ち手」に関する提案

- 認知度・知名度向上

戦略的効果的な大規模プロモーション

JNTO 等専門家の意見をきちんと踏まえたプロモーションの実施

準備の整ったところから集中的に実施 予算配分にも反映の必要

新たなブランドイメージの創出： 雪に着目

雪を前面に押し出したブランドづくり

国際的なスノー・リゾート整備

ニセコの冬季延宿泊数（2014年11月～2015年4月）

日本人 11.2万人（27.9%）

外国人 28.9万人（72.1%）

合計 40.1万人（100%）（出典：NPB）

スキー入込客数

蔵王（40万）＋安比（47万）≒ニセコ（80万）

広域連携

広域団体（東北観光振興機構）の一層の活用と強化

地元産品輸出との連携

北海道新幹線を活用した東北・北海道連携

- プロデュース能力向上（急務）

成功事例に学んだ県庁レベルでのインバウンド振興のための組織体制づくり、人材育成が急務

JNTO 海外事務所への職員派遣

観光庁等による自治体職員研修の実施

専門家集団の活用

- インバウンド振興機運の醸成

成功例を作る

相談先がなくて困っている事業者を救う

連携強化

東北観光振興機構にワンストップ窓口設置

地域旅行会社等の海外プロモーション支援（旅費補助等）

- 国際航空路線網の強化

蔵王温泉スキー場	 1.5 時間	仙台空港
	 5 時間	成田空港
安比高原スキー場	 2 時間	青森空港
	 2 時間	大館能代空港
	 3 時間	仙台空港

仙台空港の国際拠点化を目指した一局集中的な活用促進

需要創出を主眼とした就航支援

域内空港利用旅行会社支援（ファミ・トリップ、ワンストップ・サービス提供）

域内空港を活用した海外旅行の PR 支援

- 国等の関係者による一体的取組み

東北インバウンド推進会議（仮称）設置

- 福島県対策

学術交流を推進するための研究施設等の整備及び学術交流支援

海外修学旅行への支援を通じた子供大使育成、学校間交流の促進による福島ファンづくり

海外からの修学旅行受入支援

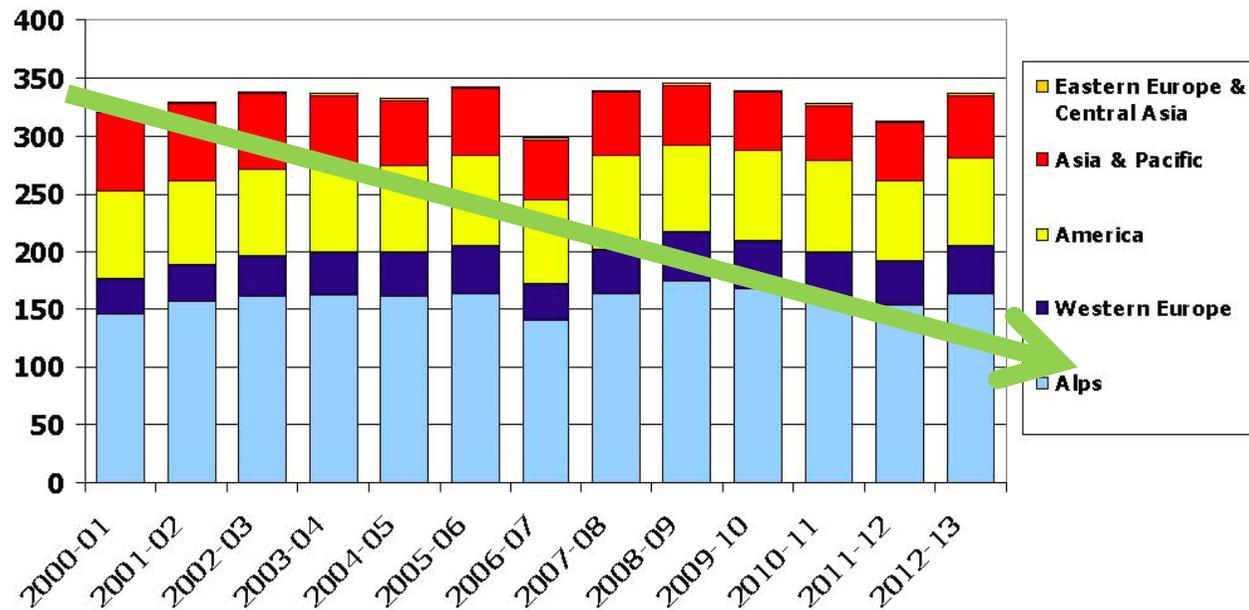
# スキー人口の推移

日本

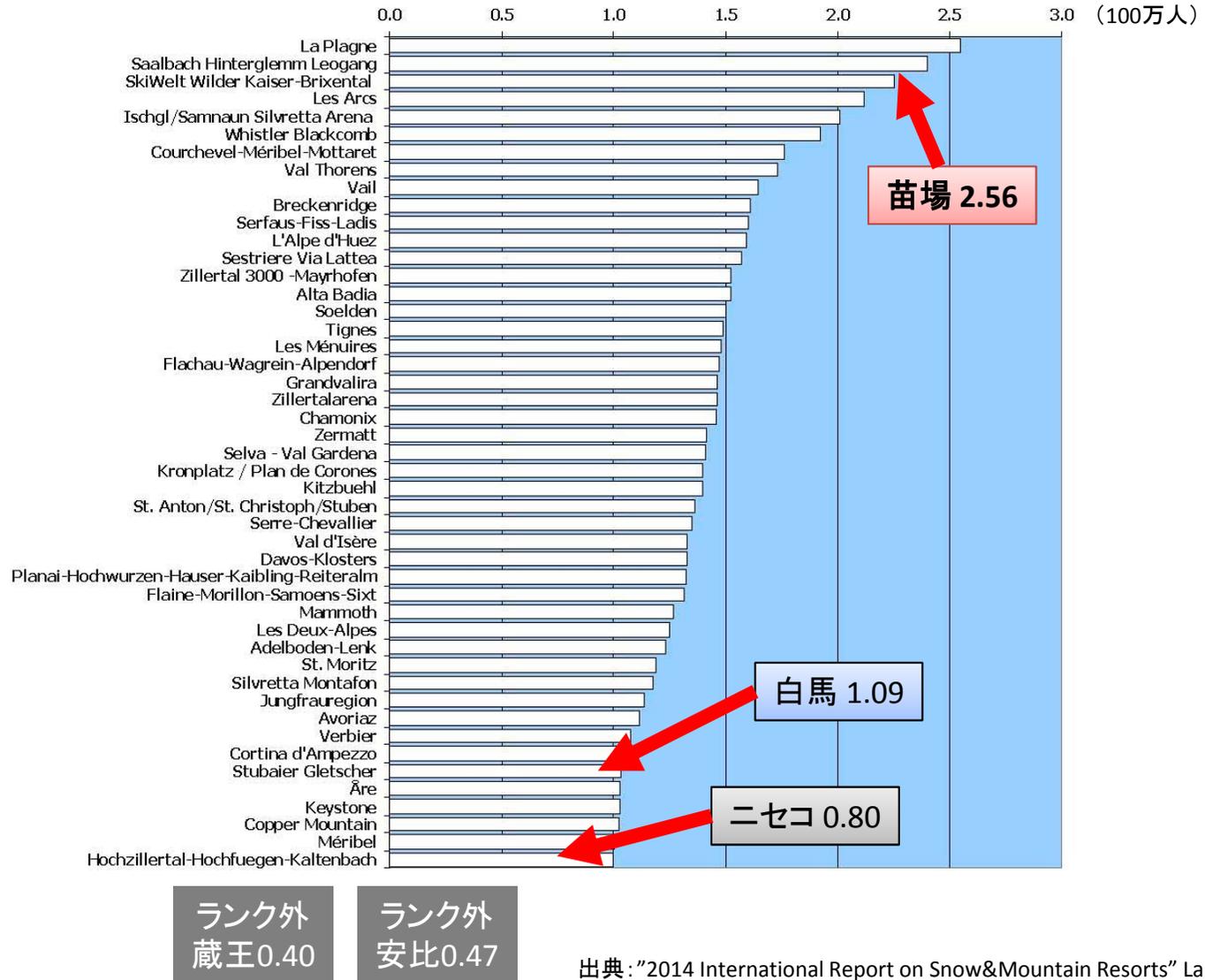
1998年  
1800万人

2013年  
770万人 (▼43%)

Skier visits per regions (mio)



# 世界の国際級スノー・リゾートと 日本のスキー場の比較



出典: "2014 International Report on Snow&Mountain Resorts" Laurent Vanat